

町長×二十歳を祝う会代表者×新春座談会



あべ しょうん
阿部 駿さん
(利府西中学校出身)
※写真 左端

にった
新田 カンナさん
(しらかし台中学校出身)
※写真 左から2番目

おのでら あすみ
小野寺 亜珠実さん
(利府西中学校出身)
※写真 中央

あづま りょうや
吾妻 菱哉さん
(利府中学校出身)
※写真 右端

かわかみ けんしん
川上 謙真さん
(利府西中学校出身)
※写真 右から2番目

利府町への思い、願い

町長 20歳を迎えられる皆さま、誠にめでとございいます。皆さんが20歳になって、自分が生まれ育った町をどういう風に感じていたのか、今後どういう町になってほしいかというのを、ぜひ聞かせていただきたいと思います。よろしく願います。

阿部 最寄りの岩切駅を利用していたのですが、仙台駅には約10分で行くことができました。アクセスが良いところもアピールできればいいと思います。利府第二小学校は親も卒業しているのでもう思い出深いです。卒業生が交流できるイベントがあれば、絆がさらに深まると思います。県外の大学に通っているのですが、利府町を知っている人が多くて温かい気持ちになります。観光資源に力を入れることで、町のさらなる発展が期待できると思います。

川上 自分が小さいとき、子ども同士が集まることはありましたが、多くの世代が集まるイベントが少なかったと思います。全世代が交流し、みんなが元気になるようなイベントがあればいいと思います。

吾妻 イオン、グランディ21、新幹線総合車両基地の存在が大きいと改めて感じます。県外の大



新田さん



吾妻さん



阿部さん

新田 住んでいてとても良い町だと感じています。自然ゆたかなところが好きで、最近は商業施設が増えて暮らしが便利になっています。また、リフノスのような町民の方が集う場所があるのも良いところです。ただ、情報や町民全体に行き届いていないと感じる面もあります。同世代や立場を同じくする方たちによる小さなコミュニティづくりが必要だと感じます。小さな輪のつながりが、町を一度離れた方が戻ってくるきっかけになると思います。

夢に向かって

町長 皆さんは今、夢に向かってどんな努力をされていますか。



川上さん



小野寺さん

小野寺 動物の健康管理および生体管理について専門的な学習に取り組んでいます。実習先では、訪れた子どもたちが動物との触れ合いを通じて、笑顔で喜ぶ姿を目の当たりにし、動物関連の仕事のやりがいと素晴らしさを実感することができました。動物を通じて皆さんの幸福度向上に貢献したいと思っています。

新田 小学校教諭が特別支援教諭を目指すか悩んでいます。実習先で障害のある方や保護者と交流する中で、どれだけ大変なことが、まだ理解できていないところもあり今も考えています。勉強を進める中で、知識を増やすことと同様に、人間性を高めることの重要性を学びました。

阿部 大学での学業と並行してボランティア活動をしています。ボランティア活動を通じて多くの方々のお話を伺い、人生にはさまざまな選択肢があることを改めて認識しました。数か月後に控えた就職活動に向けて、今は準備を進めています。

おわりに

町長 皆さん貴重な意見をたくさんありがとうございました。皆さんに「持ち帰っていただきたい言葉」があります。それは「ビックプライド」という言葉です。利府町には、日本最大の面積を誇る新幹線総合車両センターや、全国で3番目に大きいイオンモールなど、注目すべき大きな施設がたくさんあります。「住みたい街ランキング」(東北版)でも2位に位置するなど、魅力が年々高まっており、人口が上昇しています。皆さんには、堂々と利府町出身であるということを言ってほしいし、誇りを持ってほしいと思っています。そして、将来の選択肢の中に「利府町で働いてもいい」「利府町で子育てしたい」「利府町で地域貢献したい」という気持ちを持つてもらえることが、シビックプライドが育まれているということだと考えます。皆さんが育った町が、これからますます良くなる町にしていきたいと思っています。今後利府町のことを気にかけていただければと思います。皆さんがそれぞれの分野で活躍することを期待しています。本日はありがとうございました。